

第三回 橋野歴史研究会（八月五日）

◎研究題目 潮見のかっぱ（波江水神の由来・かっぱ伝説 かっぱの誓文石）
①かっぱ伝説の由来

①橋島田鷹（諸兄の孫 奈良鷹の長男）^④ 稱徳天皇の御孫にありて常陸にありて春日大神

（藤原氏の氏神 武神）
（鹿島の神 香取の神（かづね）の神を祭る）
（ま奈良に奈良に遷す奉行を拜命

②島田鷹は大工の棟頭を任命し工事にかけたが人手不足で工事が進まなかつた。

③棟頭は九十九体の木の人形を作りそれに匠の秘法を念じて祈ると木の人形は忽ち「かっぱ」に化身し、山から木を運び出し川にもぐって石を集める等働いたため

工事は予定通り完工、島田鷹は天皇の御賞詞をいただいた。

④棟頭は工事が終ったのでかっぱ達を集め匠道の秘法を念じ、元の木の人形に皮を剥きつけ、燧やそうと一ところ一陣の風が吹き火は消えてしまつた。かっぱ達は大急ぎで川に逃げ、元氣に泳ぎ廻つて子供達にいたずらをして弱死させた、親達は心配し、稱徳天皇に善処方をお願いした。

⑤天皇は島田鷹を召し出し親達の心配をなくすよう詔を下された

⑥島田鷹はかっぱ達を集め

・子供達へのいたずらをやること、いたずらしない良いかっぱは自分の部下に任命し、兵主部と名をよめる

・又行儀のよいかっぱは死んだら水神として三笠山の水神社に神として

祭る 事を約束されました、それからかっぱのいたずらはなくなりまし

⑦橋公業の橋下向に際し橋氏の部下として公業に従い橋に下り、潮見川に橋みつく

⑧ここでもかっぱは元氣の余り子供達にいたずらをして（公村公の頃）

⑨公村公は潮見神社の宮司さんにかっぱの指導をお願いされた

⑩宮司さんはかっぱ達を誓文石の所に集め子供達にいたずらしないことを

話一次の約束をされた

⑪子供達へのいたずらをやめ、この誓文石に花が咲いたらほうびに子供を一人くいてやる。

① 行儀のよいかつほは 波江水神として 潮見神社に祭られてゐる

この二つを約束されたので かつほの害はなくなりまゐた

② 波江水神について 古記録(潮見神社由緒記より)

③ 今お茶畑の中にある誓文石は元(神幸) (お下りまゐ) のお旅(石の上) にお神輿を置き(お祭があつた) 神である

④ かつほの害を院(呪文)

兵主部よ 約束せしは忘るるま

川立つおのこ跡はすかぬら

⑤ かつほ伝説について 神奈川大学小馬徹教授の見解

菅原道真(本世紀) 下世紀の人
学問に優れ 石大臣になる

藤原時平の言で 大宰権帥 ↓ 後天神マ
「九〇一、延喜元年」 とし祭られる

⑥ かつほで村おこし